聖学院みどり幼稚園

Seigakuin Midori Kindergarten Since 1978

遊びは学び、生きる力を育みます。

子どもにとっての「遊び」は、科学者の実験と同じです。
子どもたちは自分で選びとったテーマに集中して取り組み、
失敗しても何度も挑戦し、時には一人で、時には協力し合いながら、
自分で納得するまでとことん遊び込んで、遊び切って、
喜びと達成感を見出していくのです。

子どもたちが、それら主体的な遊びの経験の中で体得したことは、
小学校からの抽象的な概念としての学びにもつながり、
社会に羽ばたいてからの仕事や家庭、
人間関係などの問題解決にもつながっていきます。

そして、保育者の眼差しは絶えず、
主体的な遊びに取り組む子どもの心の中に、
何が育っているのかに注目しています。

聖学院みどり幼稚園の保育は、
一人ひとりの心の土台を深く掘り下げ、
一人ひとりの心の根っこをしっかりと這わせます。

どんなに高い建物でも、
土台がしっかりしていなければ、倒れてしまいます。
どんなに高い木でも、
目に見えない根っこが、しっかりと支えています。

未来の子どもたちを支えるのは、今形作られる“心の土台”です。

大切なお子さまの心の土台、心の根っこを、
私たちと一緒に、育んでみませんか？

8代目園長
赤田直樹

あゆみ

聖学院みどり幼稚園のあゆみ

聖学院みどり幼稚園はミッションスクールの伝統をもつ聖学院の中で生まれた、キリスト教教育を基盤とした幼稚園です。1978年に聖学院大学の前身である女子聖学院短期大学の付属幼稚園として設立されました。母体である学校法人聖学院は1903年に聖学院神学校として設立され、その後本園を含むふたつの幼稚園、小学校、男女それぞれの中学校、高等学校、そして大学、大学院が設置され、一貫教育校として現在に至っています。2023年に創立45周年を迎えました。

保育目標

神さまの愛の中で、人と関わりながら、生きる力を育む

神さまに愛され、守られているという安心感、信頼感の中で、子どもたちはのびのびと育っていきます。それぞれの違いや個性も、神さまから贈られたかけがえのない賜物。
私たちは、その賜物を大切にしながら、神さまの愛の中で、一人ひとりを育んで行きます。

「遊び」と「キリスト教保育」

キリスト教保育の土台は聖書にあります。聖書には「神が人間を創造し、命を与えて下さったこと」「一人ひとりの人間にその人らしい賜物（個性）を与えて下さったこと」が示されています。これは「私たち人間は一人で生きるのではなく、多様な賜物を持った人たちとお互いに支え合って社会を作っていくこと」を意味します。初めての集団生活の場である幼稚園においても、子ども一人ひとりの「賜物」を「その子らしさ」として受容し、それを他の友だちとの関わりを通してお互いに受け入れ、仲間関係を深めていくことを大切にしています。そのためには「遊び」が不可欠となります。「遊び」を通して自分の思い、相手の気持ちに気づくこと。様々な葛藤体験を経験することが人と関わって生きる力を育みます。

私たちが大切にしていること
～聖学院みどり幼稚園の保育～

1

育ちは、生きるエネルギー

育ちは生きるエネルギーです。
そして、生きるエネルギーとは、命です。
この命をどのように輝かせれば、
自分自身が豊かで自分らしくいられるか。

聖学院みどり幼稚園では、
“環境・時間・大人の応答”が大事にされた「遊び」を通して、
子どもたちの、命の輝きを探求し続けていきます。

その探求が子どもたちの大事な“経験”という土台となって、
これから先、他のだれのものでもない自分の世界を
広げていくのです。

遊びは子どもたちの創作活動

「遊び」は子どもたち自身が生み出していくものです。
本当にしたいと思うこと、やってみようと思うこと、
その上に「遊び」は存在します。そしてそれこそが「学び」なのです。
自分が興味を持ったことをとことんやってみる中で考え、工夫し、人との関わりを体験します。
人は人に教育されて育つのではなく、自分で自分を育てようとする力を持っています。

子どもたちは10人いれば10通りです。
興味を持つ内容、取り組み始めるタイミング、
アプローチの仕方、満足するポイント、みんな違います。
だからこそ、様々な視点を考慮された「遊び」の環境、
ゆっくりじっくりと保障される「遊び」の時間が大事。
「遊び」の主役である子どもたちの心を楽しむ大人の応答が大切と考えます。

遊びによって
培われる“心の土台”
～毎日の経験を通して～

創造する　挑戦する　工夫する　葛藤する　乗り越える　達成感をあじわう　自分を大切にする　相手を受け入れる

大人に用意された活動ではなく、自分の意志で動いた先でこそ、この心の土台が豊かに育まれていきます。

私たちが大切にしていること
～聖学院みどり幼稚園の保育～
2

集　会

「集会」の役割

**子どもたちが自分自身をよく知り、
みんなの中に自分がいることに、
大事な意味があると
感じられる手助けとなります**

「集会」は、子どもたちが自らやってみよう！と探求する
遊びの時間とは違い、保育者と共に活動をする時間です。
私たちの幼稚園では、この「集会」を遊びの両輪として捉え、
みんなで集まる時間を大切にしています。

3歳～6歳の子どもたちは、まだ小さいので経験が少なく、
自分で把握できること、進められることには限りがあります。
子どもたちのことをよく知り、予測をしたうえで、
足りない経験を促したり、今抑えるべき事柄を提供したりと、
子どもたちの可能性を引き出す活動を準備します。

大事なことは、
集まった子どもたちを保育者の都合で動かさないということ。
「集会」という時間が、
子どもとの応答の中で生み出される活動として準備され、
そして、その「集会」で経験したことが、
子どもたちの遊びに返っていき、
遊びをさらに豊かにしてくれるものであってほしいと考えています。

私たちが大切にしていること
～聖学院みどり幼稚園の保育～
3

生　活

子どもたちにとっての生活（習慣やルール、マナー等）は、
「しなければならないこと」として
大人から押し付けられるものではありません。
なぜなら、基本的生活習慣は、
心も身体も健康に過ごせることの助けとなり、
子ども自身がやってみようと思うことを
より豊かに支えてくれるものだからです。
人と一緒に過ごす場所にマナーやルールがあるのを知ることは、
自分が集団の中の一人として、
より豊かに充実して過ごしていける助けとなるでしょう。

私たちの園では、「生活」も遊びと同様、
子ども自身が「そうしよう」と思って取り組んでいけることが
好ましいと考えています。

小さな子どもたちが獲得していく生活習慣は、
個々に応じて大きな差があります。
家族以外の人たちと、新しい集団で過ごし始めたばかりの子どもたちは、
社会的な営みについて知らないことばかりです。
保育者はルールやマナーを頭ごなしに守らせようとするのではなく、
必要な場面で子どもたちが「そうしよう」と思えるために、
今どんなアドバイスや手助けが必要かを考えています。

礼拝

「礼拝」とは、神さまと出会い、神さまを喜ぶことです。「礼拝」の中で、子どもたちは神さまの言葉を聴き、自分とお友だちが神さまから愛されているかけがえのない存在であることを知ります。その喜びが、園での「遊び」、「集会」、「生活」を支えるだけでなく、一人ひとりの人生を支えていきます。聖学院みどり幼稚園では、入園式や卒園式、各学期の始業式や終業式、毎月の誕生会などを礼拝形式で行うほか、週に1度の礼拝で聖書の御言葉に触れ、賛美をし、祈る時を持っています。保護者の方も是非お越しください。

聖学院みどり幼稚園の
いちにち

聖学院みどり幼稚園の
いちねん

子どもたちにとって一番大切なことは、毎日の生活です。繰り返し行われる生活の中で安心して自分を発揮し、園生活を楽しむことができます。そのうえで、1年にいくつかの行事がもたれます。行事を通して仲間と力を合わせたり、家族と一緒に楽しんだり、いつもと違う経験をしながら、毎日の生活がより豊かになるためのものです。準備をし、当日を迎え、その後の園生活にどんな広がりがあるかを見届けるまでが一つの行事と考えます。行事のために、子どもたちの時間や想いを奪ってしまうことのないよう、子どもたちと保育者が共に創っていく活動です。

4月
- 入園式
- イースター礼拝

5月
- 親子遠足
- 創立記念礼拝

6月
- お父さんお母さんを迎える会

7月
- お泊り会（年長）
- チャペル礼拝

8月
- 夏期保育
- 夕涼み会

9月
- 祖父母をお迎えする会

10月
- プレイデー
- 園外保育
- 芋掘り

11月
- みどりフェスタ
- お父さんと遊ぼう会
- 収穫感謝祭

12月
- クリスマス礼拝

1月
- お餅つき会

2月
- 音楽会
- 豆まき

3月
- ありがとうの会
- お別れ会
- 卒園式

聖学院みどり幼稚園の
生活のあれこれ

保育時間・給食について

保護者同伴による通園の場合は、9：00〜9：30を目安に登園いただいています。降園時間は14：00です。1学期中の水曜は午前保育でお昼を食べずに帰ります。2学期以降は水曜も隔週で14：00降園です。全員でお弁当を食べる日と全員で給食を食べる日が週1日ずつ設けられています。他の日は選択制です。みんなと食べることを楽しみながら、お家の方への感謝や、食べるときのマナーを覚えていきます。

English Time

週に1度「EnglishTime」として、英語に親しむ時間を設けています。聖学院大学の講師でもあり、The founding coordinator of Teaching Children SIG, JALT（全国語学教育学会）として長年英語教育に携わるアリーダ・クラウス先生と歌やダンスを楽しみながら英語に親しみます。多言語を知ることで世界への扉がひらきます。

通園バス

現在、3台のバスがそれぞれ2コースずつ、計6コースの運行をしています。
利用するご家庭を調査し、年度毎にルートを設定しています。
場合に応じて、バス停の変更や臨時利用も可能です。

●定期利用：1か月4,000円
●臨時利用：1回200円

※登園のみ、降園のみの利用も可能です。
※月単位でお申し込みが可能です。

手作りということ

本園では、お揃いの制服やカバンはなく、保護者の方に、スモックやリュックサックの準備をお願いしています。
大事なことは、みんな一緒が当たり前なのではなく、自分はどうかな？と一人ひとりが大切にされること。
その子らしさを大切に考え、好きな色や柄が選べることが好ましいと考えています。
手作りの持ち物を無理なく準備できるように、型紙の提供、道具の貸し出し、製作委託など、幼稚園のシステムを利用していただくことも可能です。

預かり保育（オリーブクラス）

在園児を対象に朝と夕方に預かり保育（オリーブクラス）をおこなっています。
保護者の仕事の有無にかかわらず、昔に比べ「自宅の近くに遊び場がない」「近くに同年代の子どもがいない」など様々な事情があります。幼稚園という安全で、子どもたちが遊ぶのに適した場で、オリーブクラス専門の保育者に見守られながら、安心してゆったりと過ごすことができます。

●朝　8：00〜9：00（当日8：00までに申し込み）
●夕方　14：00〜18：00（当日13：00までに申し込み）
●保育料　30分100円

※土日祝日を含む休園日の実施はありません。
※夏休みなどの長期休暇期間中も利用可能です。

課外クラブ

英語クラブ

●対象　：年長・小学生
●実施日：保育後週1回　1時間

聖学院大学の講師でもあり、The founding coordinator of Teaching Children SIG, JALT（全国語学教育学会）として長年英語教育に携わるアリーダ・クラウス先生が、クラスを担当しています。

スポーツクラブ

●対象　：年中・年長・小学生
●実施日：保育後週1回　1時間

（株）総合体育研究所埼玉の講師が担当し、基礎的な運動能力の向上を図ります。

子どもたちの育ちを一緒に喜び、支え合うつながりがここにあります

幼稚園にとって、子どもたちの姿を分かち合い、子どもたちの育ちを豊かに支えていく1番のパートナーは、保護者の方々です。子どもたちを中心とした様々な活動や出会いの機会に喜びを感じながら活動しています。

行事ボランティア・お仕事会・みどりミーティング

保護者と幼稚園とが、共に手を取り合って子どもたちの生活を充実させていく楽しみを感じることのできる活動です。全て任意の活動ですので、来られる時、来たい時に参加する事ができます。「子どもたちが大好きな幼稚園の色々を知り、一緒に経験できる。」と人気の活動です。

幼稚園例会

園が主催する月に一度の保護者会です。お便りや送り迎えだけでは知ることのできない具体的な子どもたちのその時の姿を、写真や事例と合わせてご紹介しています。

あすなろ会・みどり会

保護者のサークル活動です。幼稚園で子どもたちが歌う歌を合唱で楽しんだり、園生活に必要なものをみんなで製作したり、講師を招いたヨガや手作り小物のワークショップを企画して楽しんだりと、活動や出会いの機会を楽しみながら進めています。

子どもを真ん中にして、大人たちが繋がっていく事ができたら…？
大人たちがそれぞれの立場を生かして、心を込めて子どもたちを支えようと願ったら…？
子どもにとってこんなに幸せなことはありません。

幼稚園は、サービスを提供する場所ではなく、小さな活発な命の育みを、関わることの許された大人たちとともにじっくりと愛でる、そんな時間を共有できる場所です。疲れた時も悩ましい時も、もちろん嬉しい時も、同じ目線で子どもの姿を見守る仲間がいれば、子どもたちにとっても大人にとってもそこは安心できる豊かな場所になります。

聖学院大学

聖学院みどり幼稚園に隣接する聖学院大学には子ども教育学科があり、幼稚園教諭、小学校教諭、保育士を目指す学生たちが、子どものありのままの姿を見ることのできる実習の場となってます。学生が園の行事をサポートしたり、学生企画のイベントに園児を招待したりなど、系列校の中でも大学とのつながりが深いです。留学生との交流会では、様々な文化に触れる機会として、共に歌ったり踊ったりと豊かな時間を過ごします。

聖学院教会 毎週日曜

聖学院教会は、隣接する聖学院大学のキャンパスの中にあるプロテスタント・キリスト教の教会です。聖学院みどり幼稚園や聖学院大学、近隣地域の方々に、神さまの愛を伝えるための教会です。礼拝はクリスチャンの方でなくても誰でも参加することができます。日曜にはどうぞ教会にいらしてください。

●毎週日曜日
●9：00〜10：00　教会学校（幼児・児童に向けた時間）
●10：30〜12：00　礼拝

聖学院小学校

東京都北区ある聖学院小学校への推薦制度があります。立地的なこともあり、数としては多くはありませんが、毎年数名の進学実績があります。

学校法人聖学院

学校法人聖学院は、今から100年以上前にアメリカのキリスト教ミッションによって設立されました。長い歴史を通じて発展し、現在までに幼稚園から大学院まで9つの学校と総合研究所を擁する一貫教育体制を整えた総合学院です。

さいたま上尾キャンパス
- 聖学院大学
- 聖学院大学大学院
- 聖学院大学総合研究所
- 聖学院みどり幼稚園

駒込キャンパス
- 女子聖学院中学校・高等学校
- 聖学院中学校・高等学校
- 聖学院小学校
- 聖学院幼稚園

0歳児から

園庭開放 毎週水曜

本園には四季折々に異なった表情を見せる自然にあふれた広々とした園庭があります。週に一度未就園児のお子さまに開放しており、園庭内で遊ぶことができます。

●毎週水曜日 11：00〜12：30
●対象：未就園児とその保護者
●申込：不要

1歳児から

親子で遊ぶ会 月1水曜

1歳以上のお子さんは、どなたでも参加いただけます。遊びの場を設定してお待ちしています。

●月1回水曜日 10：00〜11：30
●対象：未就園児（1歳以上）とその保護者
●費用：1回500円
●申込：予約制

2歳児・3歳児から

未就園児親子クラス 週1回

親子が一緒に遊ぶ、歌やダンス、絵本の読み聞かせ、おやつを一緒に食べるなど、同年代の子どもたちとの関わりを通し、人とのふれあいの時間を持ちます。

●週1回 10：00〜11：30
●対象：たまご組（仮）：毎週水曜　2歳児
ぐり組　：毎週火曜　3歳児
ぐら組　：毎週木曜　3歳児
●費用：各期につき 3,000円〜6,000円
●申込：予約制

どなたでも

幼稚園見学会 月1回

説明会では見てもらうことのできない、具体的な保育の様子や園生活をより身近に知っていただくことのできる機会となります。

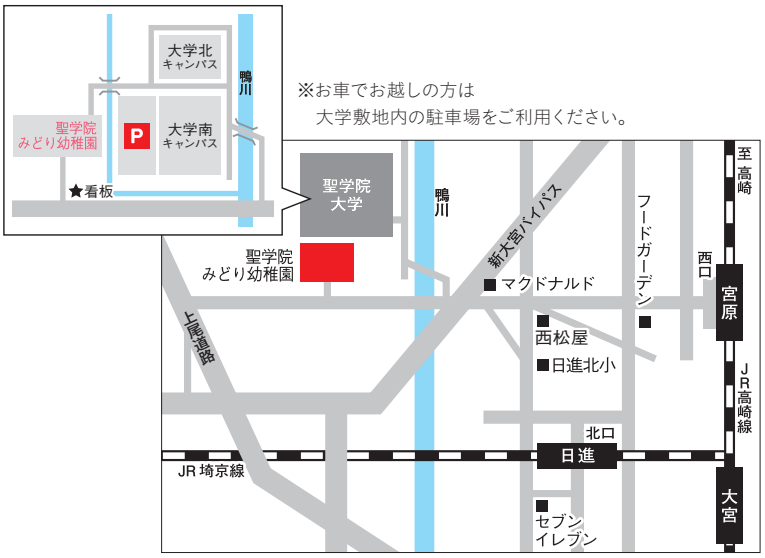
●月1回
●対象：入園をお考えの方 どなたでも
●申込：予約制

満3歳児保育

わかば組

本園では満3歳児保育を行っています。満3歳を過ぎると、同年齢の子どもへの関心が深まり、家庭以外の世界に興味を持ちだします。まだ身体の育ちや生活のリズムの個人差が大きいため、少人数でゆっくりと過ごし、個々の育ちをご家庭とともに支えていきたいと思います。入園を希望される場合は直接ご相談ください。

- 対象　：満3歳児　※入園時に満3歳になっている者
- 定員　：12名程度
- 入園日：4月2日以降の満3歳になる月より



※お車でお越しの方は
大学敷地内の駐車場をご利用ください。

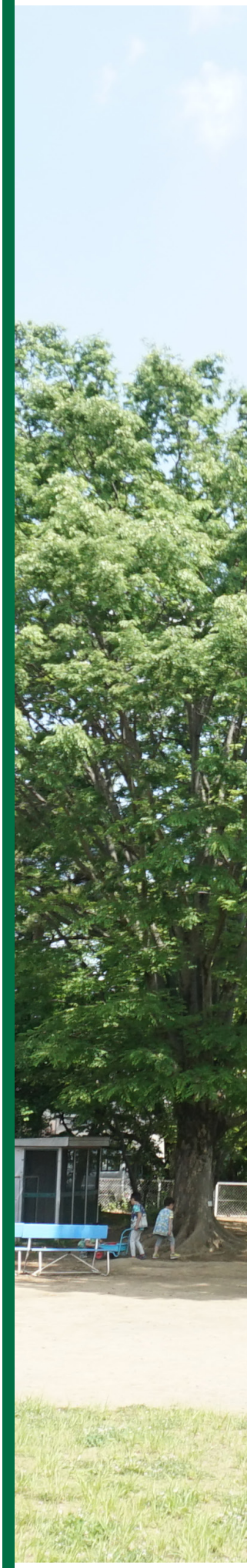
JR高崎線「宮原駅」西口／JR埼京線「日進駅」北口より徒歩20分

聖学院みどり幼稚園

お問い合わせ先 Tel 048-622-3864（月～金　10:00～17:00）

〒331-0045 埼玉県さいたま市西区内野本郷820　Fax：048-625-1822
E-mail：kinder@seigakuin-univ.ac.jp

聖学院みどり幼稚園　検索

https://midori.seigakuin.ed.jp/

インスタグラムでも園の様子を配信中
@seigakuin_midoriyouchien